

令和8年4月1日施行

安衛法改正

安全第一
グリーン
クロッス君
～ながらスマホ禁止の巻～

ながらスマホ発見！

あつ！危ない！

大丈夫？

ありがとう
大丈夫だよ！

ながらスマホはやめよう！

【エイジフレンドリーガイドラインの概要】



事業者に求められる事項

- 1 安全衛生管理体制の確立
- 2 職場環境の改善
- 3 高年齢労働者の健康や体力の状況の把握
- 4 高年齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応
- 5 安全衛生教育



少子高齢化が進展し、生産年齢人口の減少が見込まれる中、多様な人材が安全に、かつ、安心して働き続けられる職場環境を整備するため、高年齢労働者の労働災害防止のための取組の強化等の措置について、労働安全衛生法の一部を改正する法律が本年5月14日に公布され、令和8年4月1日に施行されます（労働安全衛生法第62条の2が新設されます。）。

これにより、事業者は、高年齢労働者の労働災害の防止を図るために、高年齢労働者の特性に配慮した作業環境の改善、作業の管理その他の必要な措置を講ずるよう努力義務が定められました。

近年、人口動態の変化や高齢者の健康状態の向上を背景に、事業場における高年齢労働者の就労割合が増加しています。このにより、事業者は、高年齢労働者の労働災害の防止を図るために、高年齢労働者の特性に配慮した作業環境の改善、作業の管理その他の必要な措置を講ずるよう努力義務が定められました。

転倒・腰痛防止対策も含まれる

おり、高年齢労働者の労働災害防止対策の強化が喫緊の課題となっています。

エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組で準備

その労働災害防止対策の重点としてあげられるのが労働者の作業行動に起因した労働災害であり、転倒災害防止対策や腰痛災害防止対策になります。特に転倒災害については、事業場として画一的な対応ではなく、加齢による身体機能の低下を個人差の大きい現象として捉え、各労働者の運動適正を把握してそれに適した作業配置を実施するといった対策を講じることも重要となります。

今後、高年齢労働者が安全に働き続けられる職場づくりは、人材確保の観点からも重要な経営課題になることと思われます。令和8年4月1日の施行

「暗い作業場所での照明の点灯」「ぬれハード面での対策を工夫しながら、事業場に適した対策が浸透しつつあります。しかし、ハード面の対策だけでは転倒災害は防げません。働く人が転んでもケガをしにくい体づくりとするソフト面の対策も併せて実施することで効果が期待できます。また、転倒防止に効果的な筋力アップやストレッチの方法などの体づくりとなると、専門的知識が不十分なことによりラジオ体操の実施などで対応することも少なくありません。このようなソフ

ト面の対策として秋田産業保健総合支援センターでは、秋田県理学療法士会

の協力のもと、個別に理学療法士を派遣し、座学と実技による転倒防止に応

る個別訪問支援を実施しています。社内研修や安全週間・労働衛生週間などの社内行事の時に活用していただければ有効と思われますので、ぜひご活用ください。

～ハード面の対策は浸透中～

～転倒災害防止個別訪問支援の活用～

に向けて、新たな指針が公表されことになりますが、施行日に向けて、現在示されているエイジフレンドリーガイドラインに基づいた各種活動を実施し、準備をお願いします。

秋田産業保健総合支援センター連絡先
0188-477711

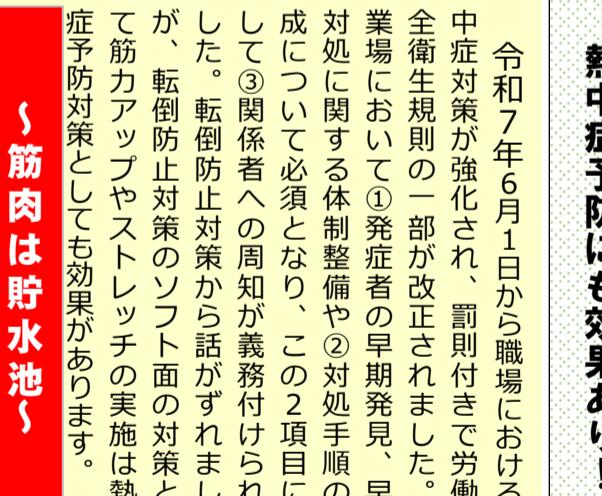
エイジフレンドリーガイドラインの中にある「体力の状況の把握」で客観的に自身の体力を把握することで、転倒防止への促しや適正配置の資料とする場合があります。ただ、労働者自身で行なうことがあります。

自身で筋力の簡単チェック

筋肉は体内において水分を保有する組織といわれ、筋肉は体の貯水池ともいわれます。それが筋肉量の少ない小児や筋肉量が減ってきた高齢者の熱中症になりやすいことの一つの原因といわれております。体内に筋肉量を増やすことは長期的な熱中症予防対策にもつながり、転倒防止対策と、どちらにも効果があることとなります。



令和7年6月1日から職場における熱中症対策が強化され、罰則付きで労働安全衛生規則の一部が改正されました。事業場において①発症者の早期発見、早期対処に関する体制整備や②対処手順の作成について必須となり、この2項目に関して③関係者への周知が義務付けられました。転倒防止対策から話がずれましたが、転倒防止対策のソフト面の対策として筋力アップやストレッチの実施は熱中症予防対策としても効果があります。



熱中症予防にも効果あり！

そこで、セルフチェックとして、サルコペニア状態にあるかの判断を行うことも有効です。サルコペニアとは、筋肉が減り、体の機能が低下した状態を指します。セルフチェックの代表例として「指輪つかテスト」や「開眼片足立ちテスト」があります。指輪つかテストは、ふくらはぎの一一番太い部分を両手の親指と人差し指で作った輪つかで囲んでみてください。輪つかとふくらはぎとの隙間が出来る場合はサルコペニアの可能性があります。

そこで、セルフチェックとして、サルコ

令和7年の転倒防止新聞は改正安衛法の内容を中心に、転倒防止対策のソフト面対策を特集しました。同時に作成の転倒防止ポスターは「転倒防止の5S」がテーマ。どっちも使ってね。（健康安全課）

編集後記

開眼片足立ちテストは、目を開け両手を腰にあて、片脚を5cmほど上げて60秒ほどキープしてみましょう。キープの時間が15秒未満の場合は要注意です。転ばないよう近くにすくつかまれるものを用意して行ってください。



そこで、セルフチェックとして、サルコペニア状態にあるかの判断を行うことも有効です。サルコペニアとは、筋肉が減り、体の機能が低下した状態を指します。セルフチェックの代表例として「指輪つかテスト」や「開眼片足立ちテスト」があります。指輪つかテストは、ふくらはぎの一一番太い部分を両手の親指と人差し指で作った輪つかで囲んでみてください。輪つかとふくらはぎとの隙間が出来る場合はサルコペニアの可能性があります。

そこで、セルフチェックとして、サルコ

ペニア状態にあるかの判断を行うことも有効です。サルコペニアとは、筋肉が減り、体の機能が低下した状態を指します。セルフチェックの代表例として「指輪つかテスト」や「開眼片足立ちテスト」があります。指輪つかテストは、ふくらはぎの一一番太い部分を両手の親指と人差し指で作った輪つかで囲んでみてください。輪つかとふくらはぎとの隙間が出来る場合はサルコペニアの可能性があります。

そこで、セルフチェックとして、サルコ

ペニア状態にあるかの判断を行うことも有効です。サルコペニアとは、筋肉が減り、体の機能が低下した状態を指します。セルフチェック